

『認知言語学研究 (Journal of Cognitive Linguistics)』投稿規定

1. 『認知言語学研究』は、日本認知言語学会の査読 (double-blind peer review) 付き学会誌である。査読は Managing Editors が受け付け、その上で、Associate Editor に査読者を選定してもらい、数ヶ月の査読期間を経て、採否を決定する。
2. 投稿は会員に限る。ただし、共著の場合は筆頭著者が会員であればよい。投稿論文の種類は、当面「研究論文」のみとするが、Managing Editors は、適任と思われる研究者に「巻頭言」「特別寄稿」「書評」「展望論文」などを依頼することができる。
3. 原稿の本文は日本語または英語とする。投稿論文は、題目・要旨・キーワード (3~5個)・本文・注・参考文献で構成する。要旨は、結論を中心に作成し、和文の場合 300~400 字、英文の場合 150~200 語で作成する。原稿本文は、和文の場合 18,000 字以内、英文の場合 8,000 語以内で作成する。なお、図表については、明瞭なものを当該個所に貼りつける。貼りつけられない場合は、別のファイルを用意し、挿入個所を明示する。
4. 本文を日本語で執筆する場合は、日本語による「要旨」とは別に、英語による「要約」を作成する。英語による「要約」は、300~400 語とする。
5. 投稿論文は、日本語の場合、1 行 32 字、1 ページ 33 行を目安とし、英語の場合は、1 行 64 ストローク、1 ページ 35 行を目安とする。日本語の場合、句読点は、カンマ「,」と句点「。」を使用する。本文の中で章・節等の記号をつける場合、章は「1.」, 「2.」,とし、章の下節は「1.1」のようにする。学会のホームページ内にテンプレート (日本語版、英語版) があるので、テンプレートに書き込む形で原稿を用意することが望ましい。
6. 投稿は未発表の完全原稿に限る。ただし、学会・研究会などでの口頭発表あるいは予稿集に掲載されたもの、科学研究費補助金などの研究報告書に掲載されたものは、投稿論文の一部に入れてよい。二重投稿や、すでに掲載された論文の再投稿が判明した場合、投稿あるいは採用を無効とすることがある。ただし、すでに『日本認知言語学会論文集』に掲載された論文を大幅に修正・加筆した上で、その旨を具体的に明記すれば投稿できるが、その場合、修正投稿論文が元の論文と十分に異なった論文となっているかどうかの判断は、Managing Editors, Associate Editor に委ねられる。
7. 特殊な活字、図版の作成等により特別な費用がかかる場合、その費用を投稿者に求めることがある。また、著者による校正は原則として初校のみとする。校正は誤植に限る。
8. 投稿は随時受け付ける。投稿は、次の宛先に「整理票」と「原稿本体」を別のファイルにして電子メールで送付する。「原稿本体」は、WORD と PDF ファイルの両方で提出する (ファイル名は筆頭執筆者のフルネームとする)。

9. 問い合わせと投稿は、**Managing Editor** の投稿受付専用メールアドレス
rivistajcla@gmail.com で受け付ける。

2012年9月9日制定

2016年6月20日改訂